

様式第2号（第3条関係）

平成30年7月25日

篠山市議会議長 様

会派名 一

代表者名 一

又は会派無所属議員の氏名 向井 千尋



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

1. 活動の種類： 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他（ 資料購入費 ）
2. 活動期間： 平成30年7月14、15、16日
3. 場 所： 東京有明医療大学（東京都江東区有明 2-9-1）
東京シティアイ（千代田区丸の内 2-7-2KITTE）
東京交通会館むらからまちから館（〃有楽町 2-10-1）
4. 活動者： 向井 千尋
5. 活動の概要： 別紙参照
6. 考 察： 別紙参照
7. 活動に要した費用：

費目	詳細	金額	備考
研究研修費	受講料・振込手数料	26,080	
〃	電車賃等	29,060	JR 園部駅～JR 東京ほか
〃	燃料代	609	自宅～JR 園部駅 42km 42km/（10km/ℓ）*145
〃	駐車場代	2,700	3日分
〃	宿泊費	17,650	2泊分

政務活動調査研究報告書

報告者	向井千尋
日時	2018年7月14日、15日、16日
調査研究名	<p>○7月14・15日</p> <p>①NPO 法人女性の安全と健康のための支援教育センター 支援者のための研修講座</p> <p>○7月16日</p> <p>②きてきて！おいしいひょうご実感フェア、むらからまちから館視察</p> <p>③ KURUMIRU—自主製品魅力発信プロジェクト—</p>
内容	<p>①セミナーA1「多様化社会とは」朴和美氏（研究者）</p> <p>○多様性の壁→「単一民族、単一言語、単一文化」の幻想。異質の文化への拒否、排除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少子高齢と人口減少が急速に進む日本は多様性社会を選択せざるを得ない。 ・ 多様化（ダイバーシティ）企業は、グローバルでなければ生きていけない。有能な人材を確保。しかし、同時にインクルージョン（受け入れて包摂する）が必要。力の不均衡をなくす。多様化には必然。 ・ 学び直しと学びほぐしが必要。「アタマは一日で革命を起こせるが、身につけたものは簡単に変えられない」 <p>○日本の人口はピークを越えた中、世界中が異次元の超高齢化を迎える日本を実験場として注目している。日本が失敗したことはやらず、成功したことを取り入れるスタンスである。</p> <p>○女性が子どもを産まない。ダブルワーク＝家庭と仕事の両方を担わされている。</p> <p>A2「障がいのある女性と複合差別」佐々木貞子氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自らも視覚障害者である。子育て中「子どもがかわいそう」偏見の目。 ・ 女性差別、障害差別は重なり合う＝「複合差別」 ・ 「優性保護法」が犯した罪 <p>旧優生保護法は障害を持つ女性約25,000人に優性手術（不妊手術）を行った。改正後20年が経過しているが、被害者の救済は進んでいない。</p> <p>セミナーA3「女性への暴力と社会構造」 角田由紀子（弁護士）</p>

- ・財務省のセクハラ問題
- ・暴力は何故生まれるのか？どのような社会構造をもつのか？女性の人権の問題。暴力のない社会を作るためには。
- ・暴力とは、身体的、精神的、心理的な力によって他人を思い通りに支配すること。戦争からDVまで。
- ・個人責任の追及だけで暴力をなくせるのか。加害者の責任追及被害者は失ったものを取り戻しにくい。1~2年もの期間を裁判に費やす中、勝ったとしても賠償金100万~300万円である。辛い思いをして何を取り戻せるのか。
- ・「被害者支援」は不完全。予防にかかわるべきである。
- ・暴力のない社会への到達方法は、
 - ①バンドエイド的（目の前の被害者支援）
 - ②根絶手術（社会構造の変革）
- ・憲法24条は家制度の廃止。女性解放のカギだったが家制度の残滓を今も引きずっている。法律は変わったが、生活は変わっていない。明治憲法の家制度のまま男性社会の中で生きており、女性を下に置く＝暴力の構造になっている。

A4「子ども虐待」 松田博雄氏（小児科医）

- ・ファミリーバイオレンス（家庭内の親密な関係にある人々間の暴力）
家庭は密室である。子ども、障害者、高齢者、DVの4つの暴力は、相互に関わりあう。
- ・95%の子どもは元の家庭へ戻る＝家庭支援が必要
- ・乳児の虐待が多い。
- ・要保護児童対策地域協議会＝児童相談所と市町村の二重構造
- ・子育て世代包括支援センターの全国展開

A5「女性への暴力被害相談基本的な考え方と実際」 池田ひかり氏（ソーシャルワーカー）

- ・相談援助には「終わり」がある。問題があっても自分で解決できる状態で相談援助は終結する。終わらなければ「依存」になる。
- ・相談支援は安全感・安心感の回復であると同時に孤立化と無力化の回復である。孤立状態で回復はできない。
- ・エンパワメント（能力開花）の過程は、相談者とのつながりにより、孤立状態から脱し、力を取り戻していくものである。

・IES-R (PTSD 評価尺度、「PTSD」: 心的外傷後ストレス障害) によるストレステストの活用

セミナーA6[リプロダクティブ・ドイツ①からだ、わたしたち自身]麻鳥澄江氏 (研究者)

- ・3月8日は「国際女性デー」
- ・1975年、国連女性の10年 世界統計開始 (女性に関する統計が皆無)
- ・1980年、日本が国連女性差別撤廃条約に署名 (中曽根首相)
- ・富士見産婦人科病院裁判
- ・北欧では、意思決定の場に女性が40%以下であってはならないクォーター制 (※4分の1ではなく、割り当て・分配制の意)
- ・アイスランド首相女性6 : 男性4にならないと平等でない。

セミナーA7「サバイバーとアディクション」 湯本洋介氏 (精神科医)

- ・アディクション: 依存症→ケアが必要。アルコール依存は死に至ることもある
- ・依存症は健康問題である→温かいケアが必要
- ・アルコール、ドラッグなどのコントロールができない場合、借金があるかどうかを疑う。
- ・脳内のメカニズム「脳内報酬系」の反応が乏しい (将来の希望もてない)
- ・脳内報酬系を活発化するために刺激性の強いものが効果→刺激に慣れてくる→より刺激を求める=制御できない
生きる意味、目的にもつながる
- ・トラウマ=ストレス (常に火災警報器がなっている状態)。フラッシュバック (根強い恐怖が日常の様々な刺激で呼び起される) の苦痛。
- ・トラウマの援助の方法=安心感や安全の確保、マインドフルネス (瞑想、ヨガ)
- ・アディクションへのアプローチは多様である。ゴール設定は、断酒・断薬ではなく、抑えること・減らすこと

セミナーA8「DV 暴力を体験するということ」中島幸子氏 (NPO レジリエンス)

- ・少年院での受刑少年からの質問
「僕は罪を犯した (レイプ犯罪) どうしてこんなことをしてしまったの

か。これからどうしたらいいのか」

にどう答えたらいいのか。彼も虐待の犠牲者「勇気をもって言ってくれた。その勇気で乗り越えられる」

・DVから逃れられない現実。そして記憶がフラッシュバック。真っ暗な崖っぷちから飛び降りて逃げるような恐ろしい感覚に陥る。→周りの支えがあれば逃げられる。

・どんなひどい虐待を受けても、周りの大人が助けられる。

・人間には牙がない。だれも一人になってはいけない。

・「傷ついた戦士」平和な国で暮らしていても暴力を経験すると戦士になる。トラウマを抱えた戦い。PTSDとの戦い。

・行政、民間、警察が個々バラバラの現実がある。

(考察)

社会福祉、医療、法律、実践家、研究者など、それぞれの立場の現場や研究からの講義でどの講義も大変興味深く、意味があった。また参加者も全国から医療、福祉、当事者団体等にかかわる女性たちで大変問題意識がたかく知識や経験も多く、刺激を受けた。

今後の篠山市における女性の人権や男女共同参画推進に役に立てたいと思う。

②おいしいひょうご実感フェア、むらからまちから館の視察見学について

・3連休の最終日ということもあり、東京丸の内や有楽町は人々で溢れていた。今回、兵庫五国の味覚を全国に紹介する兵庫県150周年の取組みの中で、丹波篠山の特産物を紹介できたことは大いに意義深いと考える。

・また「むらからまちから館」は全国の優れた逸品を紹介販売するアンテナショップにおいて、日置地区まちづくり協議会の「コベクロ」を初めて販売することになったことは、感慨深く感じると同時に、今後の展開を考える契機となった。

③その他

「KURUMIRU—自主製品魅力発信プロジェクト」に関して

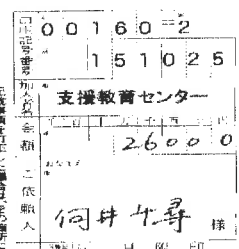
研修会場で障がい事業所の作品販売をしていた。現在、東京都はオリンピックを念頭に置いた障がい事業所の販売促進をしており、都内 180 事業所の作品を集めて、都庁や都内デパートで販売をしている。「公」が場所と売るためのノウハウを、「民」は売れる物を継続して作る。役割分担の中で、障がい者の活躍の場を創出する取り組みは興味深く感じた。

このことを受け、東京の就労移行事業で働いている知人に現状を聞き取りした。以下、その内容。

「東京では企業の方が先に取り組みが進んでおり、特例子会社などが次々に出来ている。まさにダイバーシティ。能力ある障がい者がどんどん世の中に出ている。活躍の場を得ていない障がい者もいると思うが、東京はやはり先進的ではないか。」

とのことであった。オリンピックが近づく中、こうした動きについては、今後も注視していきたい。

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
30-07-09	43381	A93170001
取扱店	サザヤマホンジョウ	
払込口座	00160-2	151025
払込金額	*26,000	料金 *80
		
振替受付票 払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)		
入金額	*30,000	
おつり	*3,920	
はじめての投資信託を ゆうちょが応援します！		

印紙税申告納付につき廻町税務署承認済

領収書

Receipt
 領収年月日 2018.-7.13
 金額 ￥28,070 (消費税等込み)
 上記金額確かに領収いたしました
 購入商品 JR乗車券類 JR tickets (4枚)
 西日本旅客鉄道株式会社
 篠山口駅
 篠山口駅F発行 00028-02

印紙税申告納付につき大淀税務署承認済



領収証

ご利用日付 2018年07月15日
 時刻 17時34分

取引内容: 乗車券類
 購入金額 : ￥330-
 お支払方法 内訳
 現金 : ￥330-

伝票番号: 06751

- 毎度ありがとうございます。
 - この領収証は大切に保存してください。
- 国際展示場駅 券121発行
 東京臨海高速鉄道株式会社

領収証

No 050877

様

金額 ￥17650-
 但 宿泊代として
 BILL No. _____
 BILL No. _____
 平成30年7月16日 上記金額正に領収致しました。



ハートンホテル東品川

〒140-0002 東京都品川区東品川4-13-27

☎ (03) 5495-0810

担当



駐車券

園部駅前Aブロックパーキング

01 A 2700円 18-07-16 18:50

ご注意

1. 車両を離れる際は窓を完全に閉め、ドア・トランク等を必ず施錠し、貴重品等を車内に放置しないよう注意してください。
2. この券は、出庫の際に必要です。紛失したり汚破損しないようお願いします。



この券を折り曲げたり磁気近づけたりしないようお願いします。 [KW3003]